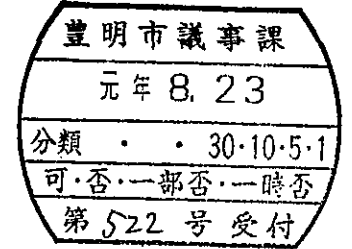


様式第2号

令和元年8月23日

豊明市議会議長 殿



行政等視察報告書

議員名 鵜飼 貞雄

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和元年7月30日	岡山県 高梁市	「豪雨復興計画」について 別添：報告書
令和元年7月31日	広島県 呉市	「国民健康保険事業の 医療費適正化」について 別添：報告書

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

会派視察報告書

提出者 鵜飼 貞雄

視察期間：令和元年7月30日(火)～7月31日(水)

視察先：岡山県高梁市役所
広島県呉市役所

1日目

豪雨復興計画について（高梁市）

●現状と取組み

- ・平成30年7月の西日本豪雨では、河川の氾濫による浸水被害や、土石流による土砂災害など深刻な被害を受けた。
- ・昭和9年と47にも非常に大きな浸水被害を受けている。平成30年の浸水規模は昭和47年に比べ1/3であった。
- ・災害からの一刻も早い復旧・復興を最優先としながらも、地域産業の再生と発展を目指し取り組んでこられた。
- ・高梁市総合計画との連携・整合を図り、被災前の姿に戻すのではなく、さらなる発展の礎づくりを目指している。
- ・復興計画は、復旧期・復興期・発展期の3段階にわけ、2018年度から2027年度の10年計画としている。
- ・復興に向けて以下の4つのプロジェクトに取り組まれている。
 1. 安心して暮らせる住環境の整備を目的とした市民生活の再建
 2. 防災・減災のための基盤整備や地域防災力の向上を目的とした災害に強い安全安心なまちづくりの推進
 3. 産業基盤の早期復旧や産業・経済の復興を目的とした産業・経済の再生
 4. 計画推進のための財政運営を目的とした復旧・復興に向けた財政運営

■所見

西日本豪雨で甚大な浸水被害を受けた高梁市では、住民を避難させるために相当な苦勞をされたようです。特に要支援者や高齢者へは民生委員の方々が中心となり動かれていたようですが、全地域で対応できていたかどうか不明なようです。防災ラジオの普及は早期の避難を徹底するためにも重要だと思います。

また、高梁市の復興計画は、現状復旧を目指すのではなく、さらなる発展を目指して様々なプロジェクトに取り組まれていることに興味を持ちました。被災した農林商工業者に対し事業の再開支援だけでなく、起業支援や企業誘致による経済基盤の強化も組まれている点から、将来を見据えたまちづくりに積極的に取り組まれており、復興を目指す他の自治体も見習う点だと思います。

2 日目

国民健康保険事業の医療費適正化について（呉市）

●現状と取組み

- ・呉市の高齢化率は、直近で34.8%と非常に高く、国保加入者の高齢化率も57.0%とこちらも高い。
- ・平成17年の時点でレセプトのデータベース化を検討したがコスト高のために一度断念している。その後も医師会・薬剤師会へのアプローチを重ね導入に至っている。
- ・レセプトデータベースは、ジェネリック使用の推進による負担の軽減やレセプト点検の効率化による医療費の節減、保険事業の推進による健康管理の徹底へとつながる。
- ・健康寿命延伸に向けた従来の取り組みは維持しつつ、新たな事業展開として、骨粗しょう症重症化予防プロジェクトや、口腔ケアの促進、介護要因疾患調査を行っている。

■所見

呉市国民健康保険事業では、保険給付費が年々増大している中、収納率の向上にも全力で取り組まれており、年度末の基金残高は増加傾向にある。

国民健康保険の健全運営のため、生活習慣病予防を柱とした保険事業の

推進を第4次長期総合計画の中に組み込まれた。ジェネリック使用促進通知や重複受診者・頻回受診者、重複服薬者への訪問指導が成果をあげており、レセプトデータを有効に活用し実績を上げている良い例です。

また、生活習慣病予防にもレセプトデータを最大限活用し、受診勧奨を実施する事で重症化を防いでいる。レセプトデータベース化は導入コストが高額となるため、二の足を踏むことも考えられるが、市民の健康管理がひいては医療費の削減へとつながる事から、今後前向きに検討する自治体も増えていくと思います。